

## 【取組の目的】

木質バイオマス原料の安定供給に向けて「伐採～造林～保育」を通じたトータルでのコスト削減を図ることにより、低コストで効率的な集荷方法の確立を目指し、関係機関との連携により取り組みを進める。

### <北海道森林管理局>

上川北部森林管理署  
上川中部森林管理署  
上川南部森林管理署  
空知森林管理署北空知支署

連携



### <上川総合振興局>

産業振興部林務課  
南部森林室  
北部森林室  
木質バイオマス推進室

## 【平成28年度の主な取組と成果】

### <林地未利用材の活用> 木質バイオマス原料の販売促進

◇木質バイオマスの需要の拡大に向け局HPへ木質バイオマス原料の発生情報を掲載し、林業関係者等へ積極的な情報提供を実施。



◇2件の販売で約450m<sup>3</sup>がバイオマス原料として活用。

◇木質バイオマス原料や家具材への需要を想定した立木販売団地の設定及び立木システム販売を実施。



◇立木販売団地を約830ha設定。  
◇立木システム販売2件（約16,000m<sup>3</sup>）の協定を締結。

### <小型林業機械の活用> トータルコストの削減

◇小規模分散化等により周囲と一体的な路網整備が困難な場合の小型フォワーダの活用及び下刈作業の軽労化に向けた乗車式草刈機の活用についての現地検討会を実施。



◇小型フォワーダ及び乗車式草刈機を紹介。  
◇今後の実用化に向け、伐根や起伏に対応した走行性の確保等の改良点を確認・共有。

## 【今後の課題】

### <林地未利用材の活用>

◇今後も木質バイオマス原料の販売、活用の促進を図るため、現状行っている採材、集積方法以外の方法について検討。

### <小型林業機械の活用>

◇小型機械の実用化、導入に向けて、引き続き関係機関との連携による検証等を行い、技術情報を地域へ発信。

## 【今後の方向性】

林地未利用材の活用及び伐採、造林、保育作業におけるトータルコストの低減を検討。